



天文台だより

銀河の森天文台
2024 秋号
Vol.105

スターライトフェスティバルに毛利さんがやってきた！

7月6日(土)に第13回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。

今年2024年は宇宙飛行士の毛利衛さんによる講演会「宇宙から見た地球生命のつながり」を開催しました。講演会では、1992年にスペースシャトル「エンデバー号」でおこなったリングを用いた宇宙授業の話など、たくさんの興味深いお話をして頂きました。また、質疑応答では大人から子供まで、時間の許す限り質問に応じて頂き、皆さん大満足の様子でした。天文台には毛利さんから頂いた「宇宙ミッション写真フレーム」も飾られていますので、皆さんぜひ見に来て下さい。



秋のイベント情報 !!

☆木星・土星と秋の天体観望会

今年はこの時期、人気の二大惑星木星と土星を楽しめます。木星の縞模様や土星の環をじっくりご観望ください。

開催日：10月23日(水)～11月3日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ハロウィーンナイト観望会

期間中、仮装してご来館いただくと、素敵なプレゼントを差し上げます。館内や望遠鏡を飾りつけて、皆様のお越しをお待ちしております。

開催日：10月26日(土)～31日(木)

☆驚き！おもしろ科学実験2024

1階展示室に様々な実験ブースが出展します。

入館料のみで参加できますので、ぜひご来館ください。

開催日時(予定)：11月30日(土) 午後1時～午後6時

☆ふたご座流星群観望会

今年のふたご座流星群は12月14日午前10時頃に極大を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日：12月13日(金)、14日(土)

説明会：午後7時30分から

「館長コラム」～秋～

天体を観望するにはいい季節になりました。春から夏はなかなか晴れない道東の天気も、秋から初冬にかけては良く晴れる日が多くなってきます。これからのシーズン、見どころはなんといっても惑星でしょう。夕方は金星、土星、夜が更けていくと火星、木星が見られます。大型望遠鏡で時間をかけて見ていただくと表面の微細な模様が判ってきます。注目は、かんむり座のT星です。普段は、10等星で肉眼では見えませんが、約80年毎に新星爆発を起こし約2等星にまで明るくなると言われています。8月末現在では、増光が確認されていないので、9月以降にその時がくるかもしれません。80年に一度の天体ショーなので楽しみです。



館長 津田浩之(双子座)

低緯度オーロラも頻繁に出現しています。これから夜の時間が長くなりますので、見られるチャンスがあると思います。まだご覧になっていない方はこの機会を逃さず見てください。8月12日深夜の低緯度オーロラとペルセウス座流星群は、天文台では曇りましたがオホーツク海沿岸ではよく見えました。私も遠征しましたが、オーロラと流星の共演は見事でした。次のチャンスは、12月14日のふたご座流星群でしょうか。あとはこの日に低緯度オーロラ出現があるかないかですね。でもその夜は、明るい月があるので、観望はかなり難しくなります。月明りよりも明るいオーロラと明るい流星が出現してくれば、奇跡の一瞬になると思います。

暦 表 (陸 別 町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月01日	5:19	17:10	28.0	3:28	16:35
10月15日	5:35	16:45	12.3	15:35	2:19
11月01日	5:56	16:20	29.3	5:30	15:52
11月15日	6:14	16:04	13.6	15:11	5:15
12月01日	6:34	15:54	29.6	6:38	15:21
12月15日	6:46	15:54	13.9	15:09	6:51

天文行事&暦

10月

- 3 ●新月
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 17 ○満月
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 23-11/3 木星・土星と秋の天体観望会
- 26-31 ハロウィーンナイト観望会



11月

- 10/23-11/3 木星・土星と秋の天体観望会
- 1 ●新月
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 16 ○満月
- 水星が東方最大離角
(光度:-0.2等, 離角:22° .6)
- 17 天王星が衝
(光度:+5.6等, 視直径:3" .8)
- しし座流星群が極大
(PM9時 最大15個/時)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 30 驚き! おもしろ科学実験2024(予定)

12月

- 1 ●新月
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 8 木星が衝
(光度:-2.8等, 視直径:48" .2)
- 9 海王星食(陸別:始17:40、終18:45)
- 13, 14 ふたご座流星群観望会
- 14 ふたご座流星群が極大
(AM10時 最大30個/時)
- 15 ○満月
- 21 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 25 水星が西方最大離角
(光度:-0.3等, 離角:22° .0)
- 31 ●新月

暮らしと宇宙「いらっしゃい SORA-Q」

9月を過ぎ、冷えた夜風はなぜだか月恋しさを連れてきます。月といえば、8月23日、日本の小型月着陸実証機“SLIM”が運用を終了しました。昨年9月に打ち上げられ、今年1月に月面に着陸したSLIM。最後の停波コマンドを送ったというお知らせを読み、胸がぎゅっとなりました。お疲れさま、おやすみ。この秋は月を眺めながら、そんな思いを送りたいと思います。

さて、SLIMには、超小型月面探査ローバ“LEV-1”と、変形型月面ロボット“LEV-2”の2機も一緒に搭載されていました。2機はSLIMの着陸直前に月面へ放出され、大活躍しました。LEV-2は、JAXA/タカラトミー/ソニーグループ(株)/同志社大学により共同開発された世界最小・最軽量の月面探査ロボットで、愛称を“SORA-Q”といいます。

実は先日とても嬉しいことに、当館はSORA-Q ThankYouアンバサダーの一員として認定され、1/1スケールモデルをご提供いただきました。現在、実際にみなさまに操作して楽しんでいただけるよう準備を進めています。

初のお披露目は11月の「驚き! おもしろ科学実験2024」を予定しています(以降連続展示予定)。ぜひ、遊びにきてください。(守)

SORA-Q Flagship Model



星座小噺「半山羊半魚の不思議なやぎ座」

段々と日も短くなり、秋を感じる時期になって、星を長く眺めることができ嬉しいですね。

秋の夜空を眺めた時に浮かぶ星座の中には黄道12星座のうちの〈おひつじ座〉、〈やぎ座〉、〈みずがめ座〉、〈うお座〉の4つの星座があります。今回はその中のやぎ座についてお話ししたいと思います。

やぎ座はその名の通りやぎの形を模っていますが、星座絵では頭がやぎで尾が魚という少し変わった形をしています。ギリシア神話では神パーンの変身した姿ですが、パーンはもともと上半身が人間、下半身がやぎという姿をしていました。ある日神様たちが川辺で宴会をしていると怪獣に襲われ、パーンは川に逃げ込みましたが慌てたせいで上半身がやぎで下半身が魚の姿になってしまいました。

ギリシア神話ではこのような話がありますが、この星座の原型は紀元前2000年頃のバビロニア(現代のイラク南部)の神エンキの象徴である山羊魚だといわれています。また、バビロニアではやぎ座が太陽と同じ位置にある時期が雨季でユーフラテス川が氾濫する季節だったことも関係しているとされています。

星座は星の並びだけではなく、その星座の起源などを知るのも面白いかもしれませんね。(寺)

天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)
- ☆ 年末年始12月28日(土)~1月3日(金)の期間は、天文台休館日となります。

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。
定員: 10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
上映時間: 午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
上映番組: 「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp X(旧Twitter): @ginganomori_obs

